

水環境対策センターでは、2019 年度より「水環境体験教室」を千葉県内の小学校で開催し講師を派遣しております。2022 年度は野田市立南部小学校で実施できました。

また、2009 年度より実施している「浄化槽講習会」をもとに、新たに SDGs の話を織り込んだテーマ『水環境を守る！身近な SDGs』として、美しい作田川を守る会で講習会を実施しました。

コロナ禍下でもあり、開催にあたっては日程調整など多くの皆様方のご協力の下に推進することができましたことを、心から感謝申し上げます。

開催日	場 所	参加者
2023/1/30(月) 8:20~14:00	野田市立南部小学校	4 年生 4 クラス 120 名および教職員 7 名 (総員 127 名)
2023/2/9(木) 9:00~11:30	美しい作田川を守る会 (山武市成東文化会館 のぎくプラザ)	美しい作田川を守る会会員 28 名

「水環境体験教室」は、講習と実習をそれぞれ1時限(45分)おこなっております。野田市立南部小学校では、昨年はコロナ禍を考慮し、初めての試みとして講習を1クラスは対面式、残りの3クラスは各教室でのリモート活用でおこないました。今年は、体育館にて講習を 4 クラス一緒に行なうことができました。実習については、時限別に各クラスとも児童が体験参加しています。

まず講習です。講師による一方的な「水環境」の話だけではなく、質問や回答を織り交ぜ児童と一体となった参加型講習です。今年も多くの児童が手を挙げて我先に当ててほしいと積極的に参加、この姿勢にはとても感心させられます。水の形態(氷、水、水蒸気)から始まり、地球上での水循環、家庭で水が使用される場所(トイレ、台所、風呂ほか)や使用水量と汚れの負荷量、微生物の働きにより下水処理場や個別浄化槽できれいな処理水になる仕組み、上水道施設や下水処理場はどこにあるかなどのお話から、締めくくりはSDGsの話を織り込んで、パワーポイントにより分かり易く学習しました。小学生にもSDGsの活動が広がっています。

講習の次は、実習となります。まず、紙の分解実験です。トイレトペーパー、ティッシュペーパーおよびトイレクリーナーが水に溶けるかを、3名の児童に実験体験してもらいます。次に、砂糖・食塩の溶解実験。お皿に付着した味噌汚れを洗う実験。水道水に含まれる塩素イオンの測定。最後は、身近にある飲み物(水道水・牛乳・コーラ・スポーツドリンク・麦茶など)のpH値を、簡易試験紙で児童および先生全員で測定し、体験実習が終了します。児童の皆さん楽しそうに、積極的に実習に取り組んでいる姿が印象的でした。お皿の味噌汚れを布で拭き取ってから洗って集めた排水と、汚れをそのまま流して集めた排水との汚れの差の実感、家に帰ってから生かされたことと思います。

次に「美しい作田川を守る会講習会」では、講習テーマを『水環境を守る！身近な SDGs』とし、美しい作田川を守る会会員で行なっている日頃の活動は、SDGsの取組みそのものであるとの話から始めました。そして水とは、水の循環、水の日、家庭の水使用量と汚染度(BOD)、生活排水の処理、水の浄化・微生物、水道水はどこから、そして参加者による実習を2つ(①トイレトペーパー、ティッシュペーパーおよびトイレクリーナーの水分解実験、②お皿に付着した味噌汚れを洗う実験)体験して頂き、最後にまとめて約 70 分間の講習が終わりました。SDGsと水環境の関連、水環境を守る活動の大切さを参加者一同で共有できたと思います。

(記) 水環境対策センター長 井町臣男

■「水環境体験教室」の様子



■「美しい作田川を守る会講習会」の様子

